



# 熊谷スマートシティにおける データ利活用の取組紹介

# 「熊谷市スマートシティ」について

2023年7月4日 市長が「スマートシティ宣言」を実施

目指すまちづくりの姿は

## 「やさしい未来発見都市 熊谷」

～デジタルと人の力で社会を前に進めていく～



人の力（市民参画）とデジタルの力（データ利活用）

により、まちの活性化及び地域の持続性を確保する



2023年7月4日  
スマートシティシンポジウム

# 「熊谷市スマートシティ」で取り組む5つの分野

1



暑さに対応したまち

「公民連携」を重視しながら  
多くの取組を展開中

5



産業DX

2



モビリティ



4



安心安全・インフラの  
維持管理

3



スポーツ・健康

市民向けデジタルサービスの中心

# LINEポータルアプリ「クマぶら」

登録者数6万人を超えました！

豊富なメニュー

- 行政・イベント情報、クーポンの配信
- 地域電子マネー「クマPAY」
- コミュニティポイント「クマポ」
- コミュニティバスのスマホ回数券
- マイナンバー公的個人認証による  
図書館利用登録機能
- 暑さ対策スマートパッケージ 等



市民向けデジタルサービスの中心

## LINEポータルアプリ「クマぶら」

折角の機会ですので  
クマぶら 6万人の登録状況について  
**BIツール「Tableau」**を  
使って説明します

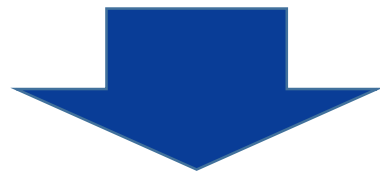


市民向けデジタルサービスの中心

## LINEポータルアプリ「クマぶら」

2023年（令和5年）

「**データ連携基盤**」の整備・運用を開始



「クマぶら」上の主要サービスの  
利用データを、**蓄積・活用する取組を開始した**





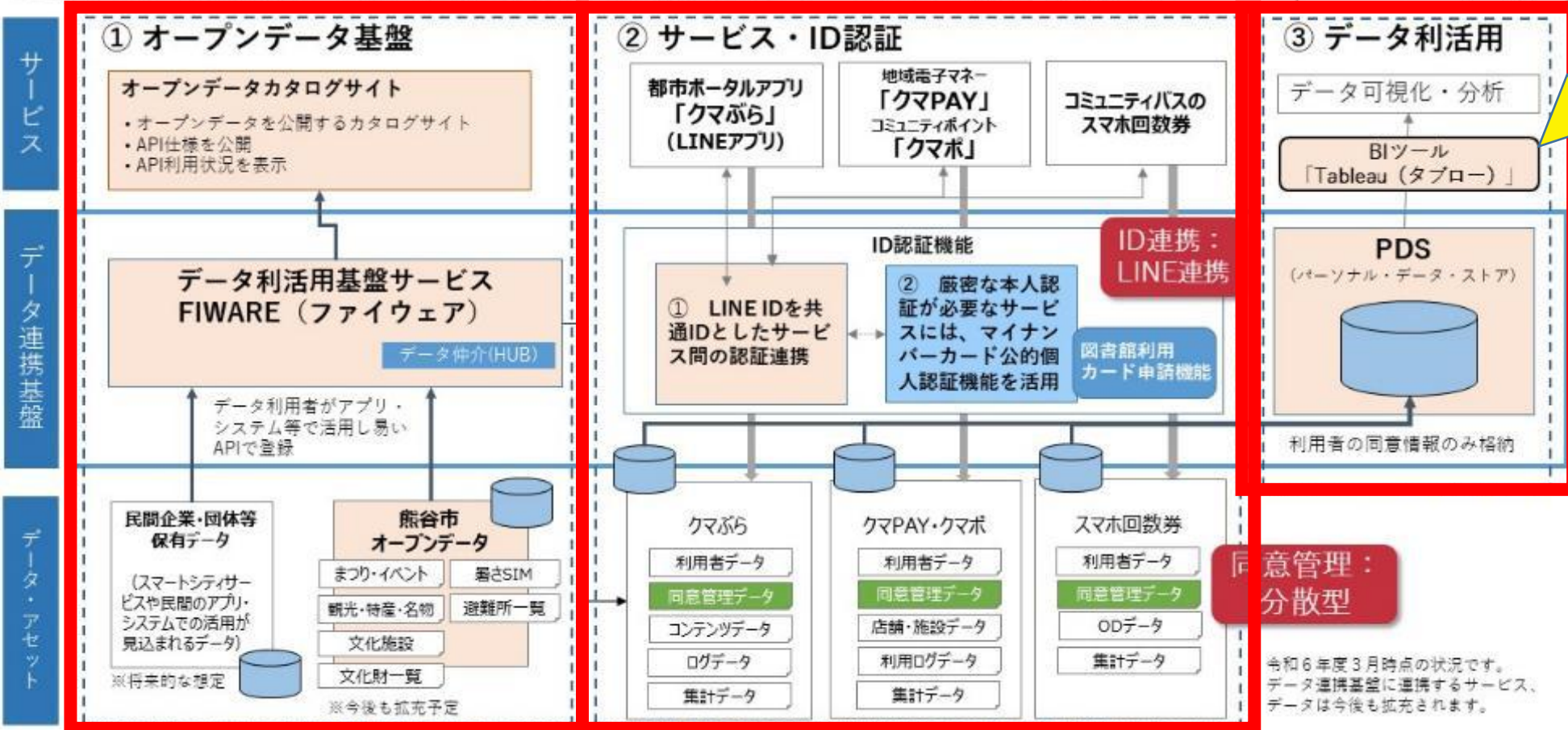
# 熊谷市のデータ連携基盤とデータ利活用の位置づけ



## 熊谷市データ連携基盤システム構成図

IDはクマぶらを入口にLINEと連携し活用、同意管理は各サービス毎に保持（分散型）

凡例 → データの流れ



データ連携基盤から得られるサービス利用データの可視化・分析を、**職員自ら内製化**できるようにすることが目標

# Tableau（タブロー）の導入状況

2025年度は、**11**の課で運用中

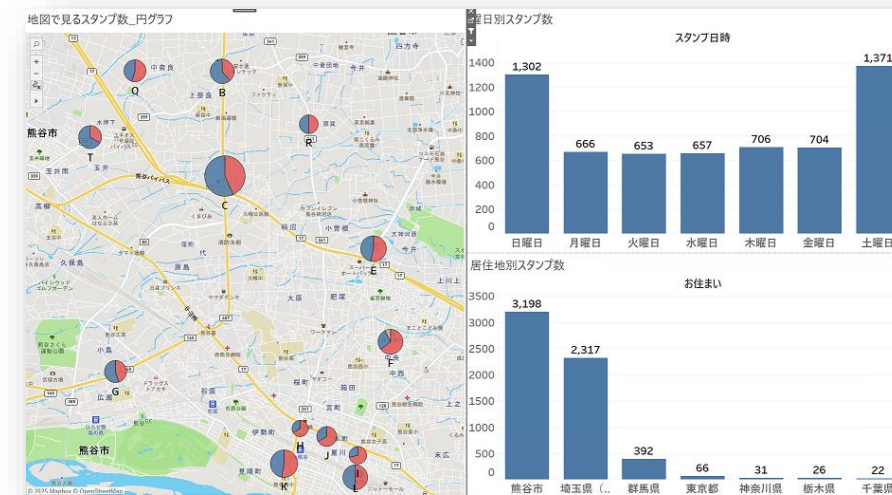


## 【導入している部門】

企画・財政、総務（人事、税）

スポーツ、市民部門、環境

商業観光・施設管理



各部署が保有するデータの可視化・分析に活用中



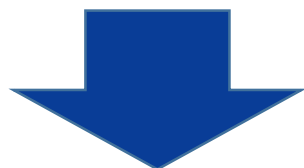
## 【庁内活性化に向けた取組】

# Tableau Café（タブローカフェ）

Tableauは、全部署で活用可能な  
汎用スキル。もっと盛り上げるには、  
**職員が「気軽に相談できる場所」**  
が必要なのではないか？



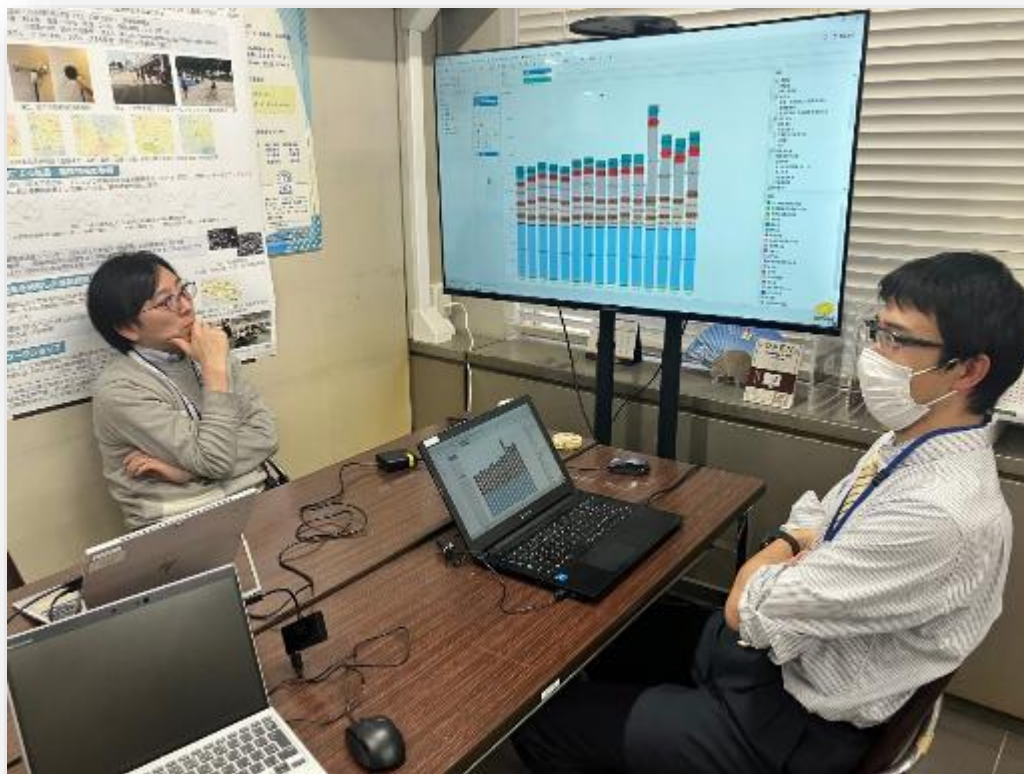
**2024年4月**



いつでも・誰でも・気軽に

カフェのように気楽に訪れられる相談窓口を庁内に設置

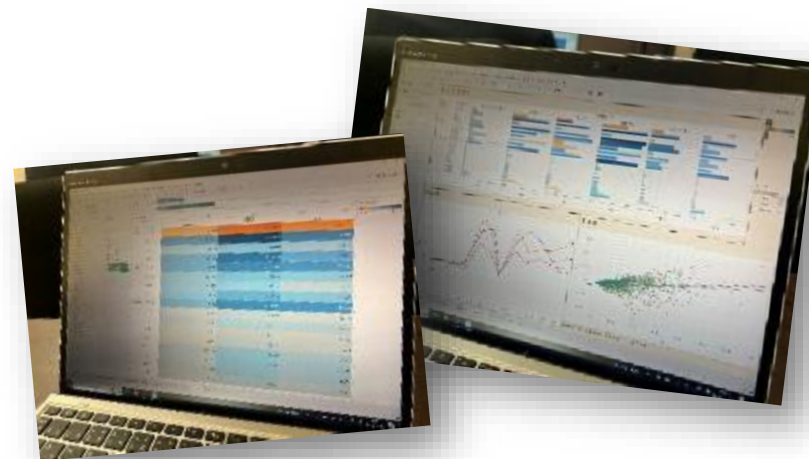
# 実際のタブローカフェの様子



データを囲んでいつも自由に語り合っています。  
コーヒーも出ませんし、Café感はあまりないですが……

## 【庁内活性化に向けた取組】

# Tableau 操作研修の実施



毎年度、外部の研修講師に依頼し、Tableau導入部署の職員を対象とした操作研修を実施。

今年度は、本日のデータハッカソンでのプレゼンを研修の成果発表に位置け。



## 【公民連携・人材育成の取組】

### データ活用に関する地域の学校との連携

アルスコンピュータ専門学校 様との連携

「スマートシティ連携データ等に関する連携協定書」を締結

立正大学 様との連携

データサイエンス学部教授を市のチーフアーキテクトに招聘



## 【公民連携・人材育成の取組】

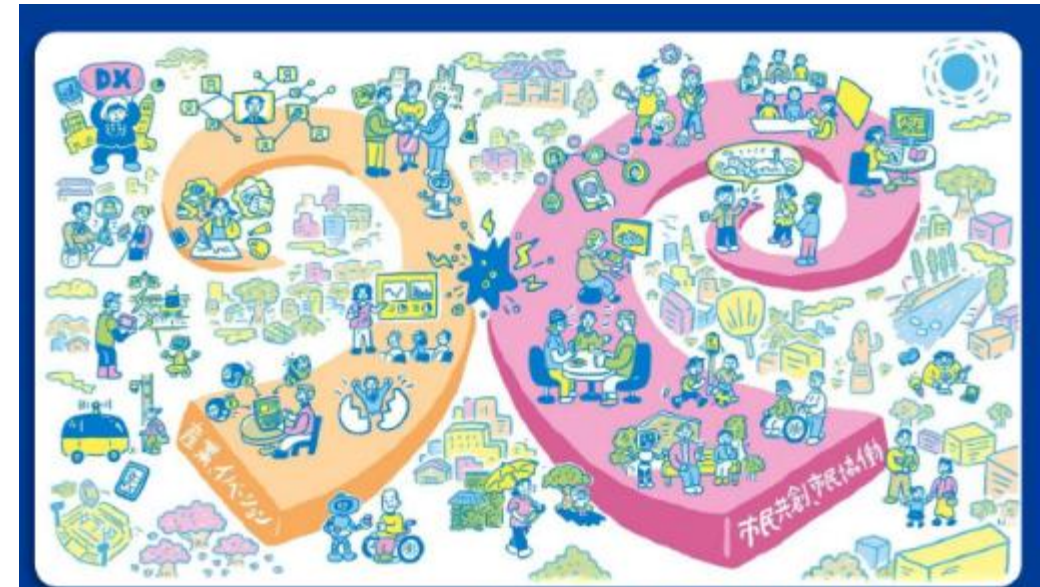
### 熊谷コミュニティラボ

WEBコミュニケーションツール

「**Slack**（スラック）」を活用し、誰でも自由に参加でき、WEB上で職員や他の参加者と語り合える場を提供。データドリブンをテーマにしたチャンネルも設けている。

皆様もぜひご参加ください！！

詳しくは、熊谷市ホームページへ



コミュニティラボコンセプトビジュアル



実際のコミュニティラボのイメージ

## 【公民連携・人材育成の取組】

### 地元高校生によるGIS活用ワークショップの開催

地元県立高校の高校生と連携し、

**3D都市モデルデータ**や**GIS**を活用して、  
**地域課題の解決策**を研究するワークショップ  
を毎年度開催している。



若い世代に、地元に関するデータの利活用を通して、  
地域課題の解決能力を育成する機会を提供

## まとめ（課題認識や今後について）

- 現在のところ、Tableauは庁内での意思決定等に活用することが中心で、市民等への公開は行っていない。今後は、先進事例を参考に、可視化した成果を公開する手法も研究していきたい。
- 職員のTableau活用スキルの維持・向上のためには、Tableau caféの活性化を始め、担当職員の人事異動リスクへの備えてについても検討が必要。
- 民間保有データ活用の幅を広げるとともに、オープンデータの充実や地域を巻き込んだ活用方法についても検討したい。

## まとめ（課題認識や今後について）

本シンポジウムで得られる知見を参考にしながら  
今後も公民連携の輪を一層広め、  
データドリブンな地域を築いていけるよう  
これからも頑張ってまいります！





ご清聴ありがとうございました

